

元楽天広報・岩越亮さん
「見せましょ、野球の底力を！」東日本大震災発生直後の2011年4月、復興支援試合で樂天・嶋基宏捕手(28)がスピーチで全国に語り掛けた。しかし日本へと上り詰めた力を見せつけついに日本へと上り詰めた。チームは眞の底力を鳴とともに考えた。元楽天広報でスポーツマネジメント会社代表の岩越亮さん(34)が振り返る名スピーチの舞台裏は――
(北野新太)



「見せましょ、野球の底力を！」とスピーチした嶋

力」とスピー

ーを鳴とし

ました。

かのスピーチ草稿を受け取っていたが「バツ」と読ん

だ。これはダメだと直感的で、これにはダメだと直感的で頑張って下さいといつた客観的な内容だった。他の11人

當時の原稿を鳴とともに考えた。元楽天広報でスポーツマネジメント会社代表の岩越亮さん(34)が振り返る名スピーチの舞台裏は――
(北野新太)

嶋が極んだ底力

今だから明かせる名スピーチ誕生の「裏側」

ヤバイっす

「底力」というフレーズ

が全國に響き渡る前日の夕方まで、嶋は自分がスピーチすることを知らなかつた。宿舎で岩越さんと会った。宿舎で岩越さんと会った。「やばいっす。ボク出来ないですよ」と弱音を吐いた。岩越さんは日本野球機構からのスピーチ草稿を受け取っていたが、「バツ」と読んで、これはダメだと直感的で、これはダメだと直感的で頑張って下さいといつた客観的な内容だった。他の11人

議論3時間

「試練」反論

主観

と見ても、嶋は眞の底力を鳴とともに考えた。元楽天広報でスポーツマネジメント会社代表の岩越亮さん(34)が振り返る名スピーチの舞台裏は――
(北野新太)

もに生んだ元楽天広報・岩

越亮さん

と見ても、嶋は眞の底力を

「底力」スピーチを嶋と

届けたい言葉

。そして2

人が「底力」という言葉に

たどり着いた。

歌のように感情を高めて

いく構成、拍手を想定した

間合い、言葉の強弱やリズ

ム。思いを届けるため、

最良の形を模索し続けた。

嶋は徹夜で一言一句を暗

記、消化し、自分の言葉に

向かった。

越さん、試練は違うと思つた。自ら望んでプレーする野球

で出会うのは試練だけだ

。地震や津波に被災するのは

前日深夜11時半。自ら

試練じゃないですよ」。嶋

が違和感を抱き、連絡したのは

3日夜、星野監督の背中

を背へて押し上げる嶋の姿

を、岩越さんはテレビ画面

を通して見つめた。「嶋だ

マジめで、とってもいいや

マジで、とてもいいや

マジ